療養病棟

在宅での生活が難しい患者さまが、病院での入院加療を継続して頂ける病棟です。病名に関わらず、医療行為が必要な方がご入院頂けますので、様々な患者さまにご利用いただけます。また、医師が必要と判断された場合には、リハビリテーションを提供させていただきます。高齢の入院患者さまが多く、心をこめて寄り添いながら医療・看護を提供しています。在宅生活や入所生活の中で医療行為にお困りの際はまずはご相談下さい。

外 来

外 来

外来は病院の顔であると共に限られた時間の中で患者さまの状態を把握し、スムーズに治療や検査、診療を受けることができるようサポートしています。医師をはじめ多職種と連携しながら患者さまが地域で安心して生活できるようスタッフ一丸となってチーム医療を展開しています。

外来リハビリテーション

回復期病棟を退院された後も、医療保険を使用してリハビリを受けていただくことができます。当院に通っていただき、医師の指示に合わせて、週1～3日、1日最大2時間の理学療法士・作業療法士によるリハビリを受けることができます。外来リハビリは個別でのリハビリとなりますので、集中的に関わることができます。

■ 診療科目
内科・外科・整形外科・リハビリテーション科・消化器内科・循環器内科・神経内科

■ リハビリテーション
理学療法・作業療法・言語聴覚療法・訪問リハビリテーション・通所リハビリテーション

■ 健康診断
特定健診・その他健診・政府管掌健康保険生活習慣病予防健診実施医療機関

■ 医療・介護連携
＜地域連携室＞
他の急性期病院との連携を主に、患者さまの入院・退院の支援を行います。
＜施設在宅支援＞
担当看護師が一貫して、施設と病院を横断的にサポートいたします。

■ 病床数 137床
2階病棟 60床（療養型 医療保険）
3階病棟 42床（回復期リハビリテーション病棟）
4階病棟 35床（回復期リハビリテーション病棟）

介護保険でのリハビリテーション

通所リハビリテーション

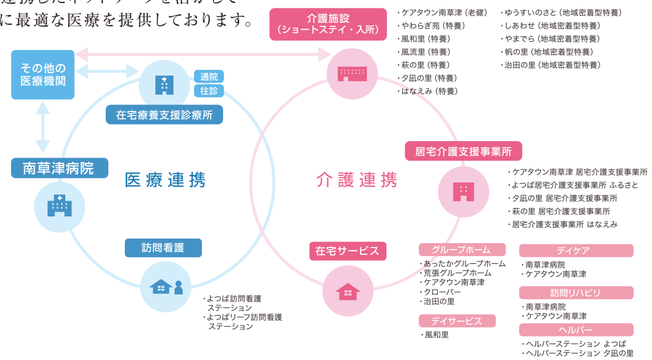
2時間以内の短い時間を運動プログラム中心に過ごすことが特徴です。利用者さまの在宅生活の課題を評価し、一人ひとりに合せたプログラムを設定しております。また、定期的に話し合いにて再評価を行いながら個人の目標達成に向けて支援しています。

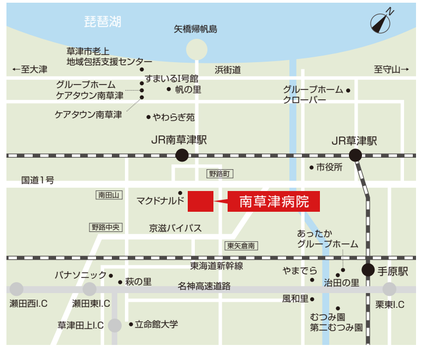
訪問リハビリテーション

訪問リハビリの内容は利用者さまの目標によって様々です。個人の目標設定やその目標に向かって必要なプログラムを実施します。利用者さまへ日常生活動作指導や自主訓練指導、ご家族さまへの介助指導や福祉用具・住宅改修の相談等を行います。

医療・介護連携

各施設と連携したネットワークを活かして
患者さまに最適な医療を提供しております。





医療法人 芙蓉会
南草津病院
TEL.077-562-0724（代）
〒525-0059
滋賀県草津市野路5丁目2番39号
FAX.077-562-4153
https://373932hp.jp

診療時間　月曜日～土曜日 9:00～12:00（日・祝 休診）
受付時間　月曜日～土曜日 8:30～12:00
（初診の方は11:30まで）（健診の方は11:00まで）

アクセス
◆電車をご利用の場合
JR「南草津駅」下車徒歩5分
（JR京都駅からJR南草津駅まで20分）
（JR大阪駅からJR南草津駅まで50分）
◆お車をご利用の場合
新名神高速道路「草津田上インター」から10分
国道1号線「野路町」交差点を目印にお越しください。
※病院をご利用される方は駐車場をご利用ください。

南草津病院グループ
よつばライフケアネットワーク

医療法人 芙蓉会

南草津病院

ケアタウン南草津
介護老人保健施設 ショートステイ
通所リハビリテーション
居宅介護支援事業所
よつば訪問看護ステーション
ヘルパーステーションよつば

ケアタウン南草津 グループホーム

グループホーム クローバー

住宅型有料老人ホーム すまいるⅠ号館

社会福祉法人 よつば会

特別養護老人ホーム やわらぎ苑
特別養護老人ホーム・ショートステイ

特別養護老人ホーム しあわせ
特別養護老人ホーム・ショートステイ

特別養護老人ホーム 風和里
特別養護老人ホーム・デイサービス・ショートステイ

特別養護老人ホーム 夕凪の里
特別養護老人ホーム・ショートステイ・居宅介護支援事業所・ヘルパーステーション夕凪の里

地域密着型特別養護老人ホーム 帆の里
特別養護老人ホーム・ショートステイ

特別養護老人ホーム 風流里
特別養護老人ホーム・ショートステイ・居宅介護支援事業所

特別養護老人ホーム はなえみ
特別養護老人ホーム・ショートステイ・居宅介護支援事業所

特別養護老人ホーム 萩の里
特別養護老人ホーム・小規模多機能型居宅介護事業所・居宅介護支援事業所・ショートステイ・よつばリーフ訪問看護ステーション

地域密着型特別養護老人ホーム 治田の里
特別養護老人ホーム・ショートステイ

グループホーム 治田の里

地域密着型特別養護老人ホーム やまでら
特別養護老人ホーム・ショートステイ

草津市老上地域包括支援センター

地域密着型特別養護老人ホーム ゆうすいのさと
特別養護老人ホーム・ショートステイ

障害福祉サービス事業所 むつみ園

障害福祉サービス事業所 第二むつみ園

あったかグループホーム

荒張グループホーム

あおじ保育園

医療法人芙蓉会

南草津病院

MINAMIKUSATSU HOSPITAL

南草津病院 3つの指針

地域に愛される病院であること
地域の医療と健康に貢献すること
信頼される医療と心のかよう看護の提供

地域医療の充実を目指して
回復期リハビリテーションに
特化した病院へ

一貫したサポート体制と地域の連携。退院後も安心して頂ける生活環境の提供を目指して

当院は3つの指針に基づいて、
地域の医療や福祉に貢献する医療機関としての役目を果たしてきました。
現在は、在宅復帰や社会復帰を目指した回復期リハビリテーションの提供とともに、
退院後も安心して生活していただけるように、
医療スタッフ、医療ソーシャルワーカー等が連携を行い、
途切れのないサービスが提供できるように努力しています。
また、グループの福祉施設とも連携を取り、
入所者さまの健康管理も行っています。
今後も地域医療福祉の発展に寄与できる様に努めてまいります。

理事長
遠藤　衛
専門分野／一般内科・消化器内科

病院長
程原　佳子
専門分野／総合内科・血液内科

「可能性をあきらめない ～おうちへ帰ろう～」をコンセプトに、専門職チームが患者さまとご家族さまを支援いたします。

回復期リハビリテーション病棟とは、家庭復帰や社会復帰を目的に、集中的なリハビリテーションを行う病棟です。朝起きてから夜寝るまでの入院生活すべてをリハビリとして捉え、医師、薬剤師、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、管理栄養士、ケアワーカー、医療ソーシャルワーカー等によるチームが一丸となり、アプローチを行います。

回復期リハビリテーション病棟

入退院の流れ

● 初日合同評価
入院初日に、主治医、看護師、リハビリスタッフ、栄養士、薬剤師、医療ソーシャルワーカーが集まり、患者さまに合った目標を話し合います。

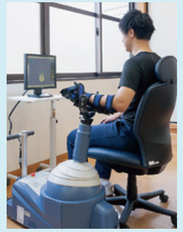
● リハビリテーション
医師の処方のもとに、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士によるリハビリテーションを365日、一日最大3時間行います。

● カンファレンス
患者さまの状態、リハビリテーションの経過をご家族さまにご説明します。そのうえで、退院後の生活について話し合いを行います。

● 家族さまへの介護指導
リハビリスタッフによる、日常生活動作の介助指導や、看護師による、家庭内で可能な医療・介護手技の指導を行います。

ニューロリハビリテーション

Honda 歩行アシスト
歩行をサポートする
歩行訓練機器



▲ **ReoGo-J**（レオゴージェイ）
上肢用ロボット型
運動訓練装置

ジェントルスティム
（干渉電流型低周波治療器）
嚥下反射（飲み込み）を
誘発させる装置

1日の生活

7:00	・起床 ・朝食・朝の身支度 （洗顔・歯磨き・服の着替え・トイレ）
9:00	・リハビリスタッフとのリハビリテーション ・病棟リハビリテーション
12:00	・昼食・歯磨き・トイレ
13:00	・リハビリスタッフとのリハビリテーション ・病棟リハビリテーション
17:00	・夕食・歯磨き・トイレ ・着替えて寝る準備
21:00	・消灯

病棟リハビリ
日々の入院生活もリハビリの一環として捉え、着替えや排泄、歯磨き等、患者さまが自力で日常生活動作が行えるように介入し、退院後の生活をよりスムーズに送れるようにサポートを行います。

看護師
患者さまのライフスタイルに近付けるため、入院中でも整った生活リズムを送る事ができるように関わります。患者さまとご家族さまの心理的サポートを行い、安心して病棟生活が送れるように関わります。

理学療法士
怪我や病気によって身体が不自由になった患者さまに対して「起き上がる」、「歩く」などの基本的な動作訓練を実施いたします。

作業療法士
日常生活動作（トイレや入浴等）の訓練や家事動作、趣味活動等患者さまにとって必要な作業の獲得に向けて動作訓練を実施いたします。

言語聴覚士
主に脳の損傷によって起こされる“飲み込みの障害”や、上手く話せない“ことばの障害”に対してリハビリを実施しております。各職種と連携して安全にお食事が可能となるお手伝いをします。

地域連携室

地域連携室には、看護師・医療ソーシャルワーカー(MSW)を相談窓口担当者として配置しています。外来患者さまの地域生活している中でのお困り事、入院中の患者さまやご家族さまからの入院中や退院後の不安事に対して、福祉制度などの提案やアドバイスをさせていただきます。

放射線課

一般レントゲン撮影やCT、嚥下造影などの検査に各種X線装置を駆使し安全・安心に配慮しながら進め、診断に必要な画像情報を提供することに努めています。患者さまと接する時間は少ないかもしれませんが検査に対する不安を安心に変え、少しでも楽に検査を受けて頂けるよう、笑顔でお迎えいたします。

薬剤課

薬や点滴の準備、飲み合わせや量のチェック、服薬指導など、患者さまが安心して薬が服用できるように調整しています。患者さまにとって最適な処方になるよう、カンファレンスにて情報共有をしています。

検査課

様々な検査値を複合的かつ経時的に確認して患者さまの全身状態を把握し、リハビリの可否や負担量の調整等の判断材料に役立てられています。又、安心してリハビリを受けて頂けるように必要な感染症検査を迅速に実施し、感染対策に努めています。

栄養課

患者さま一人ひとりが安全に美味しく食事ができるように、管理栄養士が食事状況を評価し、多職種と連携しながら栄養量や食事内容を調整しています。個別栄養指導などにより、健康管理を栄養面からサポートします。